

平成28年度第1回山形県図書館協議会

日時：平成28年9月15日（木）13:30～15:30

場所：「遊学館」2階 チェリア学習室

次 第

1 開 会

2 あいさつ
県立図書館長

3 協 議

(1) 「県立図書館の将来のあり方について」に基づく施策の進捗状況等について

4 報 告

(1) 県立図書館活性化基本計画の進捗状況について

(2) 平成28年度北日本図書館大会山形大会の実施について

(3) その他

5 その他

6 閉 会

平成28年度第1回山形県図書館協議会出席者名簿

《委員》

(敬称略)

氏名	役職	備考
加藤 美穂子	一般社団法人子どもの読書サポートアシード代表理事	
佐藤 晶子	元月刊「SPOON」編集長	
新藤 透	山形県立米沢女子短期大学准教授	
鈴木 雅史	山形新聞社論説委員	
沼野 慈	特定非営利活動法人NPOもがみ理事長	委員長
松田 道雄	尚絅学院大学 エクステンションセンター特任教授	
渡邊 裕美	山形県学校図書館連絡協議会長 (山形大学附属中学校長)	

《主催者・事務局》

氏名	所属・職名
阿部 稔	教育庁文化財・生涯学習課 生涯学習振興室長
青柳 晴雄	同 室長補佐
大場 幹生	同 生涯学習施設主査
太田 圭亮	同 主任主事
小関 正弘	県立図書館 館長
佐藤 雅人	同 副館長(兼)総務課長
安達 均	同 経営主幹(兼)経営課長
高橋 啓二	同 企画主幹(兼)企画課長
佐藤 美智子	同 総務課 総務主査
今田 広美	同 経営課 調査相談専門員
早坂 幸子	同 経営課 管理主査
豊田 一寿	同 企画課 運営企画専門員
高橋 淳子	同 企画課 運営企画主査
菊池 綾子	同 企画課 図書館活性化主査
寒河江 惇	同 企画課 資料整備主査

平成28年度第1回山形県図書館協議会

配付資料一覧

(平成28年9月15日)

[協議事項]

- 1 「県立図書館の将来のあり方について」に基づく施策の進捗状況等について
 - ・「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組み実施状況
 - ・「県立図書館の将来のあり方について」の推進に関するサービス評価指標

[報告事項]

- 1 山形県立図書館活性化基本計画の進捗状況について
 - ・山形県立図書館等施設改修工事設計業務に係る公募型簡易プロポーザルの審査結果
 - ・山形県立図書館の活性化について
- 2 平成28年度第67回北日本図書館大会山形大会の実施について
 - ・平成28年度第67回北日本図書館大会山形大会 大会資料

[参考資料]

- ◇「本の森通信」vol.3 (平成28年3月発行)、vol.4 (平成28年7月発行)、特別号

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標1「県内図書館の中核的役割の発揮」

施策	主要項目	主要項目の概要	取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）
1 専門書や郷土資料の収集拡充、図書資料費の確保	市町村図書館(室)との役割分担をふまえた専門書・郷土資料の体系的な収集	専門書選定における連続性や関連性が高い文献の調査、既刊資料購入等による資料充実	H26年度 ー
		郷土資料の情報収集と網羅的な整備、書誌検索の項目の拡充	H27年度 購入すべき既刊図書についての情報収集能力の向上 H28年度 購入すべき既刊図書についての情報収集能力の向上、絶版書籍の古書店からの購入
	専門書・郷土資料購入予算	資料購入費確保への配慮	H26年度 ー H27年度 4～3月、書誌情報拡充の検討 <山形県図書館協会「公共図書館相互協力推進事業」> 2月、特定主題文献目録※の改訂について、村山地区図書館巡回の際に意見交換を行った。 (※各図書館室で地元市町村に関係が深いテーマを設定して収集した資料の目録、前回改訂H16年度) H28年度 書誌情報拡充の検討（新たな取組み無し） <山形県図書館協会「公共図書館相互協力推進事業」> 7月、各図書館（室）へ特定主題文献目録の改訂作業依頼 (H28年度資料購入予算はH27年度予算比408千円減)
2 市町村図書館(室)に対する支援の充実	本県全域の図書館サービス向上に関するリーダーシップの発揮	市町村図書館(室)職員に対する実務研修の積極的な実施、全国の先進的な取組みの情報提供	H26年度 8月・11月、日本図書館協会「図書館基礎講座in東北」を招致（遊学館で開催）し、県内市町村図書館(室)職員に研修の機会を提供した。 12～1月、図書館危機管理研修会を開催するため、県内市町村図書館(室)からリスク事例を収集した。 H27年度 <山形県図書館協会「公共図書館相互協力推進事業」> 5月、図書館危機管理研修会を開催した。 講師：草津町立図書館係長 中沢孝之氏／参加者79名のうち市町村図書館(室)は22館室39名参加 5～6月、市町村図書館(室)巡回時に情報共有・相談体制の周知を図った。 相談の受け付け（よろず相談シート）及び専門家の紹介 11月、資料デジタル化基礎研修会を開催した。 講師：秋田県立図書館副館長 山崎博樹氏 事例紹介：酒田市立図書館長 阿部 進氏、市立米沢図書館主幹 青木昭博氏、国立国会図書館関西館主査 大川内篤氏 参加者65名のうち市町村図書館(室)は15館室29名参加 H28年度 <山形県図書館協会事業> 6月、第67回北日本図書館大会山形大会（シンポジウム、事例発表会）の開催（山形県図書館協会・北日本図書館連盟共催）288名参加 8月、平成28年度西村山地区図書館職員研修会に県立図書館職員が参加。「現代の図書館の動向」について講演、及び情報交換を行った。 8月、県立図書館職員研修（分類）開催。県内14市町村図書館（室）の職員、県内高等学校5校の学校司書、計29名が参加。 8～9月、大石田町中央公民館図書室職員2名の長期研修受入。 10月、平成28年度図書館危機管理研修会を開催（予定） <文部科学省委託事業> 11月、図書館地区別（北日本）研修を開催（予定）（7月29日委託契約締結）
		市町村図書館(室)と県内共通の取組みの企画、県民の関心を喚起する取組み	H26年度 8月～3月、県内市町村図書館(室)が連携して各館室で貸出実績のない図書の展示「貸出ゼロ展示」を実施した。 当館を含む27館室が参加し、10月の当館展示はNHKテレビニュースの全国放送で取り上げられた。 H27年度 <山形県図書館協会「公共図書館相互協力推進事業」> 5～6月、市町村図書館(室)巡回時に情報共有・相談体制の周知を図るとともに、連携企画に関する意見交換を行った。 各館(室)事業の情報収集（情報提供シート）、県立図書館内での各館(室)事業広報資料掲示、FaceBookによる発信 6～7月、ワーキンググループ会議及び実務者会議において、連携企画「山形県図書館大賞」の実施を協議した。 7～12月、連携企画「山形県図書館大賞」の実施 県内公共図書館(室)職員による2回の投票を経て、大賞36作品を10月に発表し、各館(室)において関連展示を実施した。 (当館内では10月から12月まで展示を実施) 2月、村山地区図書館巡回時に、村山地区の公共図書館における新聞保存体制について意見交換を行った。 H28年度 <山形県図書館協会「公共図書館相互協力推進事業」> 5～7月、市町村図書館(室)巡回時に県立図書館の事業説明を行い、連携企画、各館(室)の事業等について意見交換を行った。 4～7月、ワーキンググループ会議及び実務者会議において、連携企画「山形県図書館大賞」の実施を協議した。 9～11月、連携企画「山形県図書館大賞」の展示（予定） 10月、読み聞かせグループ交流・実演会の開催（予定）

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標1「県内図書館の中核的役割の発揮」

施策	主要項目	主要項目の概要	取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）
		市町村図書館(室)で活用される図書資料の充実、相互貸借・団体貸出の推進	H26年度 6～7月、市町村図書館(室)巡回時に相互貸借・団体貸出の周知を図った。 H27年度 5～6月、市町村図書館(室)巡回時に相互貸借・団体貸出の周知を図った。 H28年度 5～7月、市町村図書館(室)巡回時に相互貸借・団体貸出の周知を図った。
		図書館情報システムへの機能追加等による県立・市町村図書館(室)間の情報共有体制の整備	H26年度 - H27年度 ポータルサイト構築の検討 H28年度 3月稼働の新システムにおいてポータルサイト運用開始予定
3 学校図書館との連携の推進	学校図書館との連携に関する市町村図書館(室)との役割分担	小中学校図書館：市町村が主担、高等学校図書館：県立が主担	<山形県図書館協会「公共図書館相互協力推進事業」> H26年度 10月、ワーキンググループ会議 市町村図書館(室)が小中学校との連携窓口となっている実情に応じて役割分担を整理する検討を行った。 H27年度 <山形県図書館協会「公共図書館相互協力推進事業」> 5月、県図書館協会役員会・総会 県立図書館を学校図書館総合相談窓口とする体制から、県立図書館と市町村図書館(室)とで連携窓口を分担する体制へ変更が承認された。 市町村図書館(室)：小中学校図書館及び地域の高等学校図書館 県立図書館：県内の高等学校図書館（必要に応じ小中学校図書館も対象） 8月、村山地区高校司書研修会を共催 12月、「学校支援のための公共図書館利用ハンドブック」（第2版）を発行し、市町村図書館(室)、教育事務所等へ提供した。 H28年度 6月、山形市中学校教育研究会学校図書館部会研修会開催。 8月、山形市小学校教育研究会第3回図書館部会研修会開催。
		高等学校図書館との情報交換、県立図書館の利用の積極的な促進による高校生の読書離れ防止	H26年度 12～2月、近隣3高校を訪問し、H27年度新入生への利用者カード作成等のはたらきかけを依頼した。 H27年度 8月、村山地区高校司書研修会を共催し、高校と県立図書館との連携について協議した。 11月、山形県高等学校教育研究会図書館部会村山支部図書委員研修会・合同研修会の受入れを実施した。 (参加図書委員の利用者カード作成、図書館開架エリア及び地下書庫見学、紹介本のポップ制作実習の支援) 2月、山形市内等の高校を訪問し、H28年度新入生への利用者カード作成等のはたらきかけを依頼した。 H28年度 県内高校・市町村図書館(室)に中高生向け新刊図書案内「GATE★BOOK」をデータで提供 9月、山形商業高校図書委員研修会開催
	大学図書館との連携	図書館連絡協議会における連携強化、企画・イベントの共催の検討	H26年度 山形県図書館連絡協議会（会員持回り開催）未開催 H27年度 12月、山形大学の各キャンパス図書館を総括する教育・学生支援部学務課を訪問し、今後の連携について意見交換を行った。 H28年度 山形県図書館連絡協議会において県内大学等図書館との情報交換、今後の連携について協議
4 団体貸出の範囲の拡大	団体貸出（一括特別貸出）の対象拡大	市町村図書館(室)以外の公的機関・団体、民間団体等への拡大	H26年度 - H27年度 従前の教職員個人への特別貸出に加え、学校長への団体貸出（一括特別貸出）を開始した。 H28年度 学校長への団体貸出（一括特別貸出）の継続
		申請者自身による選書作業のほか、申請者の意向に沿った県立図書館側による選書、展示使用図書の貸出等柔軟な対応	H26年度 展示図書の一括特別貸出により申請者の選書作業を省力化する便宜を図った。 「トーベ・ヤンソン展示」選書図書及び展示掲示物 ⇒ 新庄市立図書館 「貸出ゼロ展示」選書図書 ⇒ 白鷹町立図書館、舟形町公民館 H27年度 5月～6月、市町村図書館(室)巡回において、県立図書館選書による一括特別貸出（団体貸出）が可能なことを説明し、利用を呼び掛けた。 また、相互貸借便を活用して、市町村図書館(室)職員が借受・返却のために直接来館しなくても利用できる仕組みをつくった。 10月、小国町教育委員会連携「白い森芸術祭」出張展示図書 ⇒ おぐに総合開発センターへ一括特別貸出 11月、「山形県図書館大賞受賞作品展示」選書図書 ⇒ 大石町中央公民館 平成27年度『読育』フェスティバル（会場：庄内町）の展示用図書を選書し、県教育庁文化財・生涯学習課へ一括特別貸出を行った。 H28年度 5月～7月、市町村図書館(室)巡回の際、県立図書館職員選書による一括特別貸出（団体貸出）の周知及び学校・各種団体等から利用申請あった場合に近隣の市町村図書館(室)での受取・返却ができるよう協力依頼。

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標1「県内図書館の中核的役割の発揮」

施策	主要項目	主要項目の概要	取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）
5 調査相談（レファレンス）機能の充実	調査相談（レファレンス）と専門機関紹介のレベルアップ	担当職員の専門研修派遣	H26年度 H27年度 研修の機会を捉えて対応 H28年度 11月、図書館地区別（北日本）研修（文部科学省委託事業）においてレファレンスに関する講義を実施（予定） 著作権研修に職員を派遣する。（予定）
		専門機関との定期的な情報交換による連携強化	H26年度 ー H27年度 各専門機関との情報交換・連携についての検討 H28年度 各専門機関との情報交換・連携について推進
		調査相談（レファレンス）資料の充実	H26年度 選書業務における調査相談（レファレンス）関係資料選定への配慮 H27年度 選書業務における調査相談（レファレンス）関係資料選定への配慮 H28年度 選書業務における調査相談（レファレンス）関係資料選定への配慮
		課題解決の手段としての活用を積極的に広報	H26年度 <パスファインダー> 4～1月、パスファインダーの原案を6種類作成した。 2月、H23～H25年度に作成したパスファインダー（18種類）を新聞雑誌コーナー入口に配置した。 H27年度 <レファレンスの広報・周知等> 4～5月、こどもの読書週間企画展中、図書館の業務を説明するパネルを掲示し、レファレンスサービスを紹介した。 5～11月、常設展示「くらしの道しるべ」（テーマ「図書館」）において、図書館での調べ方やレファレンスに関する本を展示。 <パスファインダー> 4月、パスファインダー6種類を新聞雑誌コーナー入口に追加配置した。（計24種類） 5～2月、パスファインダー6種類を作成し、新聞雑誌コーナー入口に追加配置した。（計30種類） H28年度 <レファレンスの広報・周知等> 中高生向け新刊図書案内の広報誌でレファレンスサービスを紹介 <パスファインダー> なつやすみ特集の企画展示で「自由研究・自由工作」のパスファインダーを配置・活用 パスファインダー6種類を新規作成予定
6 職員体制の改善	専門知識を有する司書の確保	長期の人事異動サイクルによる専門性を高めるための配慮	H26年度 （正職員19人中、4年以上在籍者6名） H27年度 （正職員19人中、4年以上在籍者3名） H28年度 （正職員19人中、4年以上在籍者3名）
		正職員の司書職採用など人材を確保するための配慮	H26年度 （正職員有資格者 年度当初司書補1名、年度途中から司書1名・司書補1名） H27年度 （正職員有資格者 司書2名） H28年度 （正職員有資格者 司書4名）

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標1「県内図書館の中核的役割の発揮」

施策	主要項目	主要項目の概要	取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）
7 職員（司書）研修の充実	幅広い知見を備えるための研修	最新の情勢・知見に接する機会の付与、館内研修・OJTの充実による業務のレベルアップ	H26年度 6～7月、村山地域等の市町村図書館(室)巡回カウンター司書を同行させ、他の図書館の取組みを視察させた。 7～9月、富士大学（花巻市）が開講する司書講習に職員1名を派遣し、司書資格を取得させた。 8月・11月、日本図書館協会「図書館基礎講座in東北」（遊学館で開催）にカウンター司書及び事務室職員を参加させた。 12～3月、1階総合案内カウンター・1階調査相談カウンターにおいて事務室職員によるカウンター業務の支援を試行した。 （1月まで週1回、2月から週2回）
			H27年度 5月、図書館危機管理研修会にカウンター司書及び事務室職員を参加させた。 6～8月、1階総合案内カウンター・1階調査相談カウンターにおいて事務室職員によるカウンター業務支援を実施した。 （ボランティアの受け入れを考慮し週1回の体制で実施。9～3月はICタグ貼付作業・無断持出検知機器設置対応のため休止） 9月、カウンター司書及び事務室職員を対象に国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの操作研修を実施した。 11月、資料デジタル化基礎研修会にカウンター司書及び事務室職員を参加させた。 1月、カウンター司書及び事務室職員を対象に法令情報データベースの操作研修を実施した。
			H28年度 5月、新任職員研修会、新聞記事データベース研修会を実施した。 8月、県立図書館職員研修（分類）を実施した。 10月、図書館危機管理研修会にカウンター司書及び事務室職員参加（予定） 11月、図書館地区別（北日本）研修（文部科学省委託事業）にカウンター司書及び事務室職員参加（予定）

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標2「県民ニーズ実現のための積極的支援」

施策	主要項目	主要項目の概要	取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）
1 地域の課題解決支援・民間団体との連携の促進	日常生活や地域課題の解決等県民ニーズへの積極的な対応	県生涯学習文化財団その他民間団体との連携による県民の課題解決のための企画展示、イベント等の実施	H26年度 4～3月、遊学館催事さくらんぼTV主催「小説家（ライター）になろう講座」連携展示 6月、遊学館催事「山形学」フォーラム基調講演との連携／「山折哲雄展示」 9月、遊学館催事作家トークショーとの連携／「逢坂剛×諸田玲子展示」
			H27年度 4月、山形市七日町花小路振興会「ドリンクテリング」との連携／「居酒屋と酒と肴を楽しむ♪展示」 4月、NHK山形放送局主催事業への協力／「親子で楽しく絵本を作ろう♪～『泣いた赤おに』その後の物語～」／遊学館会場設営・関連絵本展示 4～3月、遊学館催事さくらんぼTV主催講座との連携／「小説家（ライター）になろう講座連携展示」 4～6月、NHK木曜時代劇「かぶき者慶次」との連携／「前田慶次関連本展示」 5～6月、山形新聞連載「やまがた名詩散歩」との連携／「吉野弘と山形の詩人たち展示」 6月、山形新聞連載「やまがた名詩散歩」との連携／「山形の詩 朗読の夕べ」／山形県詩人会協力による詩の朗読（解説）会 9～10月、山形国際ドキュメンタリー映画祭2015との連携／「山形国際ドキュメンタリー映画祭2015関連展示」 10月、ドキュメンタリー映画「無音の叫び声 農民詩人木村迪夫の牧野物語」との連携／「詩人・木村迪夫著作展示」 10月、ドキュメンタリー映画「無音の叫び声」との連携／「木村迪夫の詩を語る集い」／山形県詩人会との共催によるシンポジウム 11月、山形県生涯学習文化財団（文翔館・遊学館・洗心庵）・県立博物館教育資料館合同企画「三島が歩いた道～歴史文化ゾーンを巡る～」連携／長谷川竹葉「錦絵 山形県新築之図」特別展示（縣人文庫室） 12月、一箱古本市@山形実行委員会との連携／「県立図書館クリスマス・フェスタ」／古本市その他ブックイベント
			H28年度 4～3月、遊学館催事さくらんぼTV主催講座との連携／「山形小説家（ライター）講座連携展示」 9月、みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ2016との連携イベント及び企画展示「図書館でアートを読もう！」 10月、伊藤忠記念財団との連携／読書バリアフリー研究会開催（予定）
2 子育て支援機関・団体との連携による読育の推進	子育て支援機関等と連携した図書館サービスの実施	読み聞かせ会・体験講座の情報共有、イベントの共催等による読育の推進	H26年度 ー
			H27年度 団体貸出（一括特別貸出）の取扱いを整理し、運用開始
			H28年度 継続中
H26年度	H27年度	H28年度	（施策3再掲） 6月、子育て応援団実行委員会（県子育て支援課）連携／「子育て応援団 すこやか2014」出張展示／山形国際交流プラザ 7月・8月、県教育庁文化財・生涯学習課連携／「読育推進連携講座」出張展示／県立博物館 10月、県教育庁文化財・生涯学習課連携／「体験の風をおこそう！親子体験教室」出張展示／イオンモール山形南 1月、県教育庁連携／「平成26年度山形県いのちの教育『読育』フェスティバル」出張展示／山形国際交流プラザ 2月、山形県紅花生産組合連合会（事務局：県園芸農業推進課）連携／「『ママの日』プロジェクト」出張展示／悠創館
			（施策3再掲） 6月、子育て応援団実行委員会（県子育て支援課）連携／「子育て応援団 すこやか2015」出張展示／山形国際交流プラザ 7月、県教育庁文化財・生涯学習課連携／「読育推進連携講座」出張展示／県立博物館 10月、小国町教育委員会連携／「白い森芸術祭」出張展示／おぐに開発総合センター
			（施策3再掲） 6月、子育て応援団実行委員会（県子育て支援課）連携／「子育て応援団 すこやか2016」出張展示／山形国際交流プラザ
H26年度	H27年度	H28年度	1月、県の庁内報「ななマグ」第16号の5面に当館職員による図書館業務の紹介記事が掲載され、図書館活用のPRにつながった。
			4月、県庁舎各所属へメールで図書館活用方法を案内した。 7月、県の庁内報「ななマグ」第19号に館長インタビュー・バックヤードツアーの記事が掲載され、図書館活用のPRにつながった。 9月、県のイントラ情報システムにおいて、県教育庁スポーツ保健課との連携展示「『食』をみつめなおす」の開催を案内した。 県のイントラ情報システムにおいて、シンポジウム「木村迪夫の詩を語るつどい」の開催を案内した。 県のイントラ情報システムにおいて、国立国会図書館デジタル化資料の閲覧・複写サービス開始を案内した。
			10月、県のイントラ情報システムにおいて、山形県図書館大賞展の開催を案内した。 11月、県のイントラ情報システムにおいて、県立図書館クリスマス・フェスタの開催を案内した。 3月、県の全所属にメールで県復興・避難者支援室との連携展示「3.11を忘れない」の開催を案内した。
H26年度	H27年度	H28年度	4月、県庁舎各所属へメールで図書館活用方法を案内した。 4月～県のイントラ情報システムにおいて、「県職員のための新着図書案内」を掲載中（8月までに6回） 4月、7月、県のイントラ情報システムにおいて、図書館だより「本の森通信」の発行について周知した。

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標2「県民ニーズ実現のための積極的支援」

施策	主要項目	主要項目の概要	取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）
3 行政課題解決の支援・行政機関との連携の促進	関係部局・関係機関との連携	館内での連携展示、行政機関主催事業会場における関連図書展示等による支援	<p><館内展示> 4月、県子ども家庭課連携／「少子化危機突破タスクフォース連携展示」 6月、県砂防・災害対策課連携／「土砂災害防止月間連携展示」 10月、県事業連携／「全国育樹祭展示」 県砂防・災害対策課連携／「自然災害を知る展示」 2～3月、県村山保健所連携／「自殺対策強化月間連携展示」 3月、自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク連携／「ふるさと文学交流展」</p> <p><出張展示> 6月、子育て応援団実行委員会（県子育て支援課）連携／「子育て応援団 すこやか2014」出張展示／山形国際交流プラザ 7月・8月、県教育庁文化財・生涯学習課連携／「読育推進連携講座」出張展示／県立博物館 10月、県教育庁文化財・生涯学習課連携／「体験の風をおこそう！親子体験教室」出張展示／イオンモール山形南 1月、県教育庁連携／「平成26年度山形県いのちの教育『読育』フェスティバル」出張展示／山形国際交流プラザ 2月、山形県紅花生産組合連合会（事務局：県園芸農業推進課）連携／「『ママの日』プロジェクト」出張展示／悠創館</p>
			<p><館内展示> 5～6月、県砂防・災害対策課&県庁1階ロビー「ジョンダナホール」展示連携／「土砂災害防止月間連携展示」 9月、県教育庁スポーツ保健課連携／食育展示「『食』をみつめなおす」 10月、県砂防・災害対策課連携／「自然災害を知る展示」 11月、県教育庁総務課連携／「やまがた教育の日」心をつなぐ読育推進事業展示「山形の先生からのおくりもの」 12～5月、県環境企画課&県庁1階ロビー「ジョンダナホール」展示連携（12月：地球温暖化防止月間、12～3月：冬の省エネ県民運動）／ ぐらしに役立つ情報コーナー「ぐらしの道しるべ」第8回展示「環境・エコ」</p> <p>3月、県村山保健所連携／「自殺対策強化月間連携展示」</p> <p><出張展示> 6月、子育て応援団実行委員会（県子育て支援課）連携／「子育て応援団 すこやか2015」出張展示／山形国際交流プラザ 7月、県教育庁文化財・生涯学習課連携／「読育推進連携講座」出張展示／県立博物館 10月、小国町教育委員会連携／「白い森芸術祭」出張展示／おぐに開発総合センター → 市町村図書館（室）との初共催事業となった。</p> <p><一括特別貸出> 11月、県教育庁連携／「平成27年度『読育』フェスティバル」／響ホール（庄内町）</p>
			<p><館内展示> 4月、自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク連携／「ふるさと文学交流展」 5～6月、県砂防・災害対策課連携／「土砂災害防止月間連携展示」 9月、県教育庁スポーツ保健課連携／食育展示「『食』を考える」（予定） 10月、県砂防・災害対策課連携／「自然災害を知る展示」（予定） 3月、県村山保健所連携／「自殺対策強化月間連携展示」（予定）</p> <p><出張展示> 6月、子育て応援団実行委員会（県子育て支援課）連携／「子育て応援団 すこやか2016」出張展示／山形国際交流プラザ</p>
4 電子媒体の積極的活用の推進	県内中核図書館としての電子化の取組み	貴重な郷土資料のデジタル化、閲覧の利便性向上	<p>H26年度 ー</p>
			<p>H27年度 4～3月、非常勤嘱託職員配置によりデジタル化に向けた資料整理実施（和装本の集約、書誌データの確認等） 7～1月、専門家（山形大学人文学部教授松尾剛次氏、元上山市立図書館長片桐氏）による現物調査 12月、所蔵資料に関する貴重資料記者発表（山形大学人文学部教授松尾氏同席） 最上義光関係異本 義光物語（全）、最上物語（一）～（六）、最上盛衰記 米沢藩関係 景勝公御武功記、米澤遺事（全） 庄内藩関係 戊辰戦争始末 その他 奥羽御巡幸記、山形故實録</p> <p>1～3月、図書館ホームページでのデジタル化資料公開に向けた画像撮影</p>
			<p>H28年度 6月～ 郷土関係貴重資料（絵図・写真等）のデジタル化に向けた評価・手法の検討に対して有識者より助言をいただいた。 有識者（元村山民俗学会 野口会長・市村事務局長、山形美術館岡部副館長） 対象資料 絵図「最上家在城諸家中町割図」他 16点 写真「山形県写真帖 山形県庁」他 85点 手彩色石版画「山形県庁ノ図」他 55点</p> <p>7月 平成27年度現物調査した和装本のうち郷土資料67点について、PDF化したファイルを県HPで公開開始</p>

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標2「県民ニーズ実現のための積極的支援」

施策	主要項目	主要項目の概要
		電子書籍の導入の検討
		館内報、HP、フェイスブック等による定期的な情報発信・提供

取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）	
H26年度	—
H27年度	情報収集
H28年度	情報収集
H26年度	年度後半にかけてフェイスブックに随時イベント情報を掲載して情報発信を強化した。
H27年度	4～3月、展示、研修会、市町村図書館(室)巡回、イベント等図書館の事業のつどフェイスブックによる情報発信を実施した。 8月、図書館だより「本の森通信」創刊（折々のお知らせ掲載、ホームページ・市町村図書館(室)と高等学校図書館等配信、年3回発行） 12月、図書館だより「本の森通信平成27年度特別号」発行（前年度動向掲載、ホームページ・市町村図書館(室)配信、年1回発行）
H28年度	4～9月、展示、研修会、市町村図書館(室)巡回、イベント等図書館の事業のつどフェイスブックによる情報発信を実施した。 4月、図書館だより「本の森通信」平成27年度運営報告特別号発行 7月、図書館だより「本の森通信」第4号発行

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標2「県民ニーズ実現のための積極的支援」

施策	主要項目	主要項目の概要	取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）
積極的な情報発信 5による認知度の向 上	県民に対する県内 中核図書館の役割 のアピール	プレスリリースや各種広報誌等への 積極的な情報提供	<p><館内展示> 10月、「貸出ゼロ展示」 ⇒ 10/10NHK山形放送局ラジオ生中継「山形ひるどきラジオ なにしたのや〜?」、10/16NHK山形放送局テレビ生中継 ⇒ 10/27読売新聞大阪版に関連記事掲載、10/28山形新聞社説に県立図書館及び当該展示が取り上げられた。 ⇒ 10/31NHK総合テレビ「おはようニッポン」で全国放映、11/10・11/14時事通信社・JAMPに関連記事掲載</p> <p>3月、「ふるさと文学交流展」 ⇒ 3/23知事定例記者会見の中で開催の言及があった。（県教育庁文化財・生涯学習課プレスリリース） ⇒ 4/1山形経済新聞（ネットニュース配信サービス）に関連記事掲載（http://yamagata.keizai.biz/phone/headline.php?id=83）</p> <p><その他> 2月、1階新聞雑誌閲覧コーナーへの飲料持ち込み解禁、1階視聴覚エリアへの大活字本・朗読CDコーナー設置 ⇒ 山形新聞による取材に協力、3/9に関連記事が掲載された。 3月、第2回図書館協議会プレスリリース ⇒ 3/24山形新聞社説に「県立図書館の将来のあり方について」が取り上げられた。</p>
			<p><館内展示> 4月、こどもの読書週間企画展「図書館のちから」プレスリリース ⇒ 4/22山形新聞に関連記事掲載、4/23YBCテレビ街角伝言板にてお知らせ放映</p> <p>5月、「吉野弘と山形の詩人たち」プレスリリース ⇒ 6/13山形新聞に関連記事掲載</p> <p>6月、「虫・ムシ・むしの本」プレスリリース ⇒ 6/22NHKローカルニュース「あすの動き」で紹介、6/26山形新聞に関連記事掲載</p> <p>7月、「戦後70年展」プレスリリース ⇒ 7/22TUYテレビのローカルニュースで放映、7/30山形新聞に関連記事掲載、7/31・8/13YBCテレビのローカルニュースで放映 ⇒ 8/12YTSテレビのローカルニュースで放映</p> <p>7月、「なつやすみ特集」プレスリリース ⇒ 8/4山形新聞に関連記事掲載</p> <p>9月、「食をみつめなおす」 ⇒ 9/21山形新聞に関連記事掲載 11/1県政広報番組「やまがたサンデー5（YBC）」で教育庁担当者が県立図書館の展示をコメント 「山形国際ドキュメンタリー映画祭2015関連展示」 ⇒ 9/30山形新聞社説に取り上げられた。</p> <p>10月、「2014～2015県内出版物展」プレスリリース ⇒ 11/11山形新聞に関連記事掲載</p> <p>11月、長谷川竹葉「錦絵 山形県新築之図」特別展示 ⇒ 11/13山形新聞の文翔館・遊学館・洗心庵・教育資料館合同企画「三島が歩いた道」関連記事において取り上げられた。</p> <p>3月、「3・11を忘れない」プレスリリース ⇒ 3/12読売新聞に関連記事掲載、3/15毎日新聞に関連記事掲載</p> <p><出張展示> 7月、「読育推進連携講座」出張展示 ⇒ 7/6国立国会図書館「カレントアウェアネス・ポータル」に関連記事掲載</p> <p><イベント> 5月、「山形の詩・朗読のタベ」プレスリリース ⇒ 6/13山形新聞に関連記事掲載</p> <p>9月、「木村迪夫の詩を語る集い」プレスリリース ⇒ 9/30山形新聞社説に取り上げられた。10/11山形新聞、日本農業新聞、共同通信取材あり。</p> <p>11月、県立図書館クリスマス・フェスタプレスリリース ⇒ 11/13国立国会図書館「カレントアウェアネス・ポータル」に関連記事掲載 12/9NHKテレビ（山形放送局）の番組「やまもり！」でのイベント案内放映 12/19NHKテレビのローカルニュースで書庫探検ツアー等の様子が放映された。 12/19NHKとYTSのデータ放送県内ニュースで取り上げられた。</p> <p><社会貢献活動の受入れ> 5月、ボランティア募集プレスリリース ⇒ 6/11山形新聞に関連記事掲載</p> <p><その他> 8月、図書館だより「本の森通信」創刊 ⇒ 8/24国立国会図書館「カレントアウェアネス・ポータル」に関連記事掲載</p> <p>9月、第1回図書館協議会プレスリリース ⇒ 9/17山形新聞に関連記事掲載 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス提供開始 ⇒ 10/12山形新聞に関連記事掲載</p> <p>10月、山形県図書館大賞プレスリリース ⇒ 10/28山形新聞に関連記事掲載、FMやまがたで取り上げられた。 10/30山形新聞社説に取り上げられた。11/4SAYテレビのローカルニュースで放映 11/11時事通信社・JAMP「官庁速報」に関連記事掲載</p> <p>12月、所蔵資料に関する貴重資料記者発表 ⇒ 12/5山形新聞及び朝日新聞に関連記事掲載、12/8読売新聞に関連記事掲載 12/11毎日新聞に関連記事掲載</p> <p>2月、手荷物持ち込み解禁・蓋付き飲料持ち込み箇所拡大プレスリリース ⇒ 2/25山形新聞及び毎日新聞に関連記事掲載 同日TUYテレビのローカルニュース及びデータ放送ニュースで放映 2/26SAYテレビのローカルニュースで放映</p>

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標2「県民ニーズ実現のための積極的支援」

施策	主要項目	主要項目の概要	取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）
6 ボランティアの導入等図書館運営への県民参加の推進	中高生・大学生以外の一般県民を対象としたボランティア活動の受入れ	段階的なボランティア受入れ分野の拡大	H28年度 4月、県政広報番組「やまがたサンデー5（YBC） 県民みんなの県立図書館」収録協力（4月放映） 4月、こどもの読書週間企画展「絵本が奏でる音の世界」プレスリリース 山形市内幼稚園・保育園・村山管内小学校・県内図書館へチラシ送付 ⇒ 4/19 YBC テレビ街角伝言板にてお知らせ放映 4/20山形新聞に関連記事掲載 4/22朝日新聞山形版「週末ふあいる」に紹介記事掲載 7月、「なつやすみ特集」プレスリリース（県HP「いち押し」夏休み事業一覧に掲載） 8月、「山の日」プレスリリース ⇒ 8/5山形新聞に関連記事掲載 8/7山形新聞山のはなし特集記事に紹介記事掲載 8/11毎日新聞に関連記事掲載 「勲章・褒章御恵贈記念『折下吉延氏』所蔵品特別企画展」プレスリリース ⇒ 8/18山形新聞に関連記事掲載
			H26年度 -
			H27年度 6月、ボランティア募集開始 山形市市民活動支援センター、山形市及び隣接市町の公立公民館・勤労青少年ホーム（教育委員会経由）等へ募集要項配置依頼 県の全所属あてメールで案内 7月、説明会（面接）実施、ボランティア17名登録、オリエンテーション実施、ボランティア活動受入開始 2月、特別整理期間中（休館中）に職員とボランティアが合同で開架書架及び閉架書架の整理を実施した。
	民間団体等と連携したボランティア育成	H28年度 5月、新規ボランティア募集開始 6月、27年度からの継続ボランティア14名登録 7月、新規申込者説明会（面談）実施、ボランティア8名新規登録、オリエンテーション実施、活動開始	
		H26年度 -	
		H27年度 11月、図書館ボランティアとの意見交換会を開催し、ボランティア活動の進め方を協議した。 2月、村山地区図書館巡回時に、公共図書館と連携している民間団体等に関する情報収集を行った。	
雑誌スポンサー制度による企業の社会貢献等の促進	H28年度 11月、図書館ボランティアとの意見交換会を開催（予定）		
	H26年度 4月、雑誌スポンサーの受入開始（年度末、5社6誌） ㈱大風印刷5月「週刊文春」、㈱山形銀行6月「プレジデント」、㈱荘内銀行8月「週刊新潮」・「モンテディオ山形ファンマガジンRush」 山形県住宅供給公社11月「サライ」、独立行政法人都市再生機構12月「きょうの健康」（申請は㈱山形アドビューロ経由）		
	H27年度 4～3月、雑誌スポンサーの受入（年度末、5社6誌） ㈱大風印刷「週刊文春」、㈱山形銀行「プレジデント」、㈱荘内銀行「週刊新潮」・「モンテディオ山形ファンマガジンRush」 山形県住宅供給公社「サライ」、プライズイマージュ「ゼクシィ」（8月から）		
H28年度 4～3月、雑誌スポンサーの受入（7社9誌） ㈱大風印刷「週刊文春」、㈱山形銀行「プレジデント」、㈱荘内銀行「週刊新潮」・「モンテディオ山形ファンマガジンRush」 山形県住宅供給公社「オレンジページ」、㈱ケン・山形ホテルマネジメント（ホテルキャッスル）「ゼクシィ」 一般社団法人子どもの読書サポートアシード「MOE」、山形労働金庫「住まい設計」・「日経マネー」			

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標3「県民本位の利用しやすい図書館づくり」

施策	主要項目	主要項目の概要
1 開館日の増加等利用機会の拡大	利用見込みや利用実態に応じた開館日・時間の設定	祝日月曜日開館の早期実現に向け関係機関と調整
		他県の状況もふまえ冬期の土・日、祝日の利用実態に応じた閉館時刻設定を検討
2 手荷物・飲料持込みの解禁	手荷物をコインロッカーに預ける不便の解消、利用者の不快感軽減	無断持出検知システム導入による手荷物持ち込み解禁の検討
	飲料持込み解禁による堅苦しさの緩和	ブラウジング（新聞雑誌閲覧）コーナーへの飲料持込み解禁の検討
3 蔵書管理の充実による利便性の向上	適切な蔵書の保存	定期的な閉架書庫の蔵書点検と燻蒸実施、点検作業の効率化の検討
	開架スペースに閉架書庫が隣接する状況の解消、閉架書庫立ち入り要望への対応	書庫を含む館内レイアウト見直し・遊休スペース活用の検討
	マイクロフィルム利用環境の充実	定期的な閉架書庫見学ツアーの実施への対応 劣化防止対策の検討、老朽化した閲覧機器の更新
4 インターネット・複写サービスの利便性向上	インターネット利用環境充実	Wi-Fi導入の検討
	国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用環境整備	国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供

取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）	
	（関係部局と調整中）
	（検討中）
H26年度	－
H27年度	2月、ボランティアの導入等により特別整理期間の休館期間を1日短縮した。
H28年度	4月、年度当初の館内整理に伴う休館を3日（4/1～4/3）から1日（4/1）に短縮した。 2～3月、図書館情報システムの更新にあわせICタグによる効率的な点検機能を整備（予定）
H26年度	－
H27年度	2月、ICタグによる無断持出検知システム稼働により手荷物の持込みを全面解禁した。
H28年度	2～3月、図書館情報システムとの連動（予定）
H26年度	2月、1階新聞雑誌コーナーへの蓋付き飲料持込みを解禁した。
H27年度	2月、1階ラウンジ、2階ミニラウンジ（新設）及び赤ちゃん絵本コーナーへの蓋付き飲料持込みを解禁した。
H28年度	引き続き館内4箇所への蓋付き飲料持込み可とした。
H26年度	2月、特別整理期間中に閉架書庫9類（文学・小説等）の書架整理を実施した。
H27年度	郷土資料と行政資料の分離所蔵の検討 2月、特別整理期間中にボランティアと合同で閉架書庫2類（歴史、地理、地誌、紀行）の書架整理を実施した。
H28年度	2月、特別整理期間中に閉架書庫3類（社会科学）の書架整理を実施予定 2～3月、図書館情報システムとの連動により点検期間の短縮化（予定）
	（図書館活性化対策とあわせて検討）
H26年度	－
H27年度	12月、定期開催に向け、「県立図書館クリスマス・フェスタ」において閉架書庫見学ツアーを試行的に実施した。
H28年度	12月、「県立図書館クリスマス・フェスタ」において実施予定
H26年度	－
H27年度	閲覧機器更新の検討
H28年度	閲覧機器更新の検討
H26年度	－
H28年度	－
H27年度	導入手法の検討
H28年度	導入手法の検討
H26年度	－
H27年度	9月、国立国会図書館デジタル化資料の閲覧・複写サービスを開始した。 10月、国立国会図書館の歴史的音源配信提供サービスの館内利用を開始した。
H28年度	上記に加えて、国立国会図書館視覚障害者等用デジタル化資料の閲覧・複写サービスを開始（予定）

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標3「県民本位の利用しやすい図書館づくり」

施策	主要項目	主要項目の概要	取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）
	複写サービスの充実	カラー複写機設置の検討	H26年度 ー H27年度 県図書館協会複写機の取扱いの検討 H28年度 県図書館協会複写機の取扱いの検討
5	高齢者や乳幼児同伴者への配慮	大活字本・朗読CDの特設コーナー新設、拡大読書器の配置	H26年度 2月、1階視聴覚エリアに特設コーナー「楽らく文庫」を設置するとともに、視聴覚席に拡大読書器専用席を1席設置した。 H27年度 10月、1階新聞雑誌コーナー付近に大活字本を展示するとともに、資料リストを配置して大活字本の利用促進を図った。 H28年度 4月、1階新聞雑誌コーナー付近に大活字本の新着コーナーを設置した。 6月、1階視聴覚コーナー付近にマルチメディアDAISY図書コーナー設置、館内閲覧席も1席設置し、貸出も開始した。
	乳幼児同伴者等への配慮	防音に配慮した子供読書室等専用スペース確保の検討（中長期的課題）	（図書館活性化対策とあわせて検討）
6	図書館の演出	高等教育機関等の協力による統一的なデザイン採用の検討	（図書館活性化対策とあわせて検討）
	おもてなしの雰囲気づくりの推進	作家等サイン色紙や市町村キャラクターの展示、BGM放送の検討	H26年度 11～3月、遊学館催事さくらんぼTV主催「小説家（ライター）になろう講座」講師サイン本展示 角田光代（講座11月）、高橋克彦（講座12月）、三浦しをん（講座1月）、藤田宜永（講座2月）、畠中 恵（講座3月） H27年度 4～3月、遊学館催事さくらんぼTV主催「小説家（ライター）になろう講座」講師サイン本展示継続 野村 進（講座4月）、島本理生（講座5月）、森村誠一（講座6月）、小池真理子（講座7月）、穂村 弘（講座8月） 松村理英子（講座9月）、堂場瞬一（講座10月）、角田光代&井上荒野（講座11月）、辻原 登（講座12月） 三浦しをん（講座1月）、千早 茜・ゲスト村山由佳（講座2月）、桜木紫乃&花房観音（講座3月） （BGMについては、図書館活性化対策とあわせて検討） H28年度 4～9月、遊学館催事さくらんぼTV主催「山形小説家（ライター）講座」講師サイン本展示継続 東山彰良（講座4月）、川本三郎（講座5月）、大沢在昌（講座6月）、酒井順子（講座7月）、村田沙耶香（講座8月）、志水辰夫（講座9月）
7	にぎわい創出につながる仕掛けの展開	学校や民間団体等と連携した館内での小規模イベントの定期的開催	H26年度 4月、「紙ヒコーキ教室」 児童と保護者対象（参加者計26名）／こどもの読書週間企画展「山形空港開港50周年記念関連イベント」 外部講師による体験教室とあわせて図書館の活用を案内した。 8月、「紅花染め体験&図書館ツアー」 児童と保護者対象（参加者計26名）／外部講師（県工業技術センター職員）による体験教室とあわせて図書館の活用を案内した。
			H27年度 5月・6月、「図書館のぼうけん」 児童と保護者対象（参加者計20名）／開館時間において図書館フロアを会場に体験型ゲームによる図書館探検を開催した。 6月、「山形の詩 朗読の夕べ」（基本目標2の施策1再掲） 一般対象（参加者38名）／閉館後の図書館内での朗読会／山形新聞連載「やまがた名詩散歩」との連携企画（協力：山形県詩人会） 閉館後図書館フロアを会場に山形県詩人会会員7名による詩の朗読（解説）会を開催した。 10月、「木村迪夫の詩を語る集い」（基本目標2の施策1再掲） 一般対象（参加者42名）／ドキュメンタリー映画「無音の叫び声 農民詩人木村迪夫の牧野物語」との連携企画（協力：山形県詩人会） 遊学館研修室を会場にシンポジウムを開催した。 12月、「県立図書館クリスマス・フェスタ」（基本目標2の施策1再掲） 図書館・遊学館ギャラリーを会場にブックイベント（一箱古本市、ミニライブ、ラッピングブック貸出、地下書庫探検ツアー）を開催した。 入館者数：1,452人（参考：H26年12月平均入館者数591.4人/日）、一箱古本市出店数24店、地下書庫探検ツアー参加者37人
		館内レイアウトの見直しも含む施策の検討（長期的課題）	H28年度 4月、「山形西高等学校合唱団 絵本とうたの会」 児童と保護者対象（参加者計104名）／こどもの読書週間企画展「絵本が奏でる音の世界」関連イベント 遊学館1階ギャラリーを会場に県立山形西高等学校音楽部によるミニコンサートとあわせて図書館の活用を案内した。 7月、「モビール作り体験」 児童と保護者対象（参加者計24名）／「なつやすみ特集」関連イベント／体験教室とあわせて図書館の活用を案内した。 9月、みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ2016との連携イベント「ブックトープフェス」（10日）、「和合亮一詩朗読会」（24日） （図書館活性化対策とあわせて検討）

「県立図書館の将来のあり方について」施策の主要項目及び取組実施状況

平成28年9月9日現在

基本目標3「県民本位の利用しやすい図書館づくり」

施策	主要項目	主要項目の概要
8 図書館情報システムの改善	図書館横断検索システムの統合	図書館情報システムとの統合による不具合の改善
	貸出履歴の提供	貸出中図書一覧の出力機能や利用者本人限定の貸出履歴照会機能の導入
9 駐車場利用の改善	車で来館する利用者への配慮	近隣における駐車場の確保や県営駐車場の無料時間拡大の検討

取組実施状況（平成27年度まで実績／平成28年度以降実施・予定）	
H26年度	—
H27年度	—
H28年度	2～3月、図書館情報システムとの統合（予定）
H26年度	—
H27年度	—
H28年度	2～3月、図書館情報システムの更新にあわせ所要の機能を整備（予定）
（図書館活性化対策とあわせて検討）	

「県立図書館の将来のあり方について」の推進に関するサービス評価指標について

山形県図書館協議会報告書「県立図書館の将来のあり方について」(平成27年3月18日)で示された施策の推進を図るため、平成27年度から平成29年度までのサービス評価指標を定める。

1 人口千人当たり延来館者数

より多くの県民に利用される図書館づくりの推進

	年度	数値	摘 要
実績	H 2 5	170.95	[195,095人(H24-8,084)／人口1,141,260人] ×1,000
	H 2 6	170.50	[192,779人(H25-2,316)／人口1,130,659人] ×1,000
	H 2 7	178.46	[200,407人(H26+7,628)／人口1,122,957人] ×1,000
目標	H 2 7	174.29	[195,200人(H26+2,421)／人口1,120,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 8	178.02	[197,600人(H27+2,400)／人口1,110,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 9	181.81	[200,000人(H28+2,400)／人口1,100,000人(仮定)] ×1,000

2 人口千人当たり所蔵資料数

本県の中核図書館として必要な資料充実の推進

	年度	数値	摘 要
実績	H 2 5	710.88	[811,297点(H24+19,235)／人口1,141,260人] ×1,000
	H 2 6	730.47	[825,908点(H25+14,611)／人口1,130,659人] ×1,000
	H 2 7	750.58	[842,874点(H26+16,966)／人口1,122,957人] ×1,000
目標	H 2 7	752.68	[843,000点(H26+17,092)／人口1,120,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 8	783.78	[870,000点(H27+27,000)／人口1,110,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 9	815.45	[897,000点(H28+27,000)／人口1,100,000人(仮定)] ×1,000

3 人口千人当たり相互貸借及び一括特別貸出による延貸出実績

市町村図書館(室)支援体制強化の推進

	年度	数値	摘 要
実績	H 2 5	8.21	[9,368点(H24+1,478)／人口1,141,260人] ×1,000
	H 2 6	9.25	[10,455点(H25+1,087)／人口1,130,659人] ×1,000
	H 2 7	10.11	[11,348点(H26+ 893)／人口1,122,957人] ×1,000
目標	H 2 7	10.27	[11,500点(H26+1,045)／人口1,120,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 8	11.26	[12,500点(H27+1,000)／人口1,110,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 9	12.27	[13,500点(H28+1,000)／人口1,100,000人(仮定)] ×1,000

4 人口千人当たり受取館貸出による延利用実績

県民への広報並びに市町村図書館(室)との連携強化による県内全域での活用の推進

	年度	数値	摘 要
実績	H 2 5	4.27	[4,874点(H24+ 156)／人口1,141,260人] ×1,000
	H 2 6	5.33	[6,026点(H25+1,152)／人口1,130,659人] ×1,000
	H 2 7	4.93	[5,533点(H26- 493)／人口1,122,957人] ×1,000
目標	H 2 7	5.71	[6,400点(H26+ 374)／人口1,120,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 8	6.04	[6,700点(H27+ 300)／人口1,110,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 9	6.36	[7,000点(H28+ 300)／人口1,100,000人(仮定)] ×1,000

5 人口千人当たりレファレンス件数

レファレンスサービスに対する県民の認知度拡大とサービス体制強化の推進

	年度	数値	摘 要
実績	H 2 5	6.05	[6,907件(H24-141)／人口1,141,260人] ×1,000
	H 2 6	5.66	[6,394件(H25-513)／人口1,130,659人] ×1,000
	H 2 7	6.48	[7,272件(H26+878)／人口1,122,957人] ×1,000
目標	H 2 7	6.04	[6,760件(H26+366)／人口1,120,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 8	6.42	[7,130件(H27+370)／人口1,110,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 9	6.82	[7,500件(H28+370)／人口1,100,000人(仮定)] ×1,000

6 人口千人当たりイベント(図書館活用・展示関連)延参加者数

図書館の活用促進につながる事業の実施及び情報発信の推進

	年度	数値	摘 要
実績	H 2 5	—	
	H 2 6	0.14	[154人／人口1,130,659人] ×1,000
	H 2 7	0.78	[1,766人／人口1,122,957人] ×1,000
目標	H 2 7	0.20	[220人(H26+66)／人口1,120,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 8	0.24	[270人(H27+50)／人口1,110,000人(仮定)] ×1,000
	H 2 9	0.29	[320人(H28+50)／人口1,100,000人(仮定)] ×1,000

<実績値資料>

山形県立図書館「山形県立図書館要覧」平成24～27年度版、その他館内統計

山形県企画振興部「平成26年山形県の人口と世帯数－山形県社会的人口移動調査結果報告書－」

山形県立図書館等施設改修工事設計業務に係る公募型簡易プロポーザルの審査結果

1 審査結果

最優秀者 株式会社羽田設計事務所
優 秀 者 有限会社柴崎浩一設計事務所

2 審査経過

「山形県立図書館活性化基本計画」（平成 28 年 3 月山形県教育委員会策定）が掲げる県立図書館活性化の具体的方策の一つである大規模改修に係る設計業務について、公募型簡易プロポーザルを実施しました。

建築士法の規定に基づく一級建築士事務所の登録を山形県知事から受けていること等を参加資格として、平成 28 年 6 月 21 日から 7 月 29 日まで提案を募集したところ、2 者から応募があり、山形県立図書館等施設改修工事設計業務簡易プロポーザル方式設計者選定委員会（以下「選定委員会」という。）が審査を行いました。

なお、審査は提案者を特定できないようにするため、提案者名を伏せて、整理番号により行いました。

（1）選定委員会の開催状況

平成 28 年 6 月 10 日	第 1 回選定委員会 ・募集要領、提案課題等の決定
平成 28 年 8 月 1 日～2 日	第 2 回選定委員会（持ち回り開催） ・第一次審査（第二次審査参加者の決定）
平成 28 年 8 月 23 日	第 3 回選定委員会 ・第二次審査（ヒアリング審査、最優秀者及び優秀者の決定）

（2）第一次審査の概要

提出書類を確認したところ、提案書の提出事務所 2 者はいずれも参加資格を満たすとともに、失格基準に該当しないものでした。このため、提案書の提出事務所 2 者を第二次審査（ヒアリング）参加者とすることを決定しました。

（3）第二次審査の概要

第二次審査では提案書に基づくヒアリングを実施しました。提案者から 15 分以内の説明と 15 分程度の質疑応答を行いました。

ヒアリング後、各委員は、「取組意欲」、「業務実施方針及び手法」（業務の理解度、業務の実施方針、提案課題に対する技術提案（①「ときめく図書館」の実現、②「賑わい創出」の実現、③多様なニーズに応えるゾーニング））について採点しました。

* 「取組意欲」、「業務実施方針及び手法」の採点結果（A）

整理番号	1	2	配点
得点 (委員5人の平均点)	61.60点	50.84点	85点

上記のヒアリング審査の結果に、「技術力」（担当技術者の保有資格及び同種又は類似業務の実績、提案書の提出事務所の山形県発注業務に係る成績評価等）の得点を加えました。

* 「技術力」の採点結果（B）

整理番号	1	2	配点
得点	31.63点	17.40点	35点

* 最終集計結果（A+B）

整理番号	1	2	配点
得点	93.23点	68.24点	120点

最終集計結果を踏まえ、最高点数であり、第二次審査において高評価であった整理番号1を最優秀者に選定することを決定しました。

また、整理番号2を優秀者に選定することを決定しました。

以上により、最優秀者に整理番号1（株式会社羽田設計事務所）を、優秀者に整理番号2（有限会社柴崎浩一設計事務所）をそれぞれ選定することを決定しました。

3 審査講評

最優秀者（株式会社羽田設計事務所）

近年新しく整備された図書館の事例にも触れつつ、「縣人文庫を専門分野の書架に散りばめて、その分野で功績があった人物の関連資料を展示し山形らしさを打ち出す」、「現在の県立図書館の特徴でもある庭園と図書館を木製デッキと天幕でつなぎ、開放的でくつろいだ空間を演出する」、「多様な世代や目的・境遇に合わせて場所を選べる空間を整備する」等の提案がありました。

今回の大規模改修の目的である「ときめく図書館」の実現について、図書館の本来機能を踏まえつつ、新たな付加価値の創造を図る提案がなされ、この発想を土台として考えていきたいと思わせるものであると高評価を得ました。

優秀者（有限会社柴崎浩一設計事務所）

「県立図書館のイメージを県内を縦断する最上川に重ね、知の入り江である入口から船着き場に見立てた情報コーナーを經由して奥へ続いていくとする空間構成」や、「多様な位置から様々な本や情報が顔を出し、『本のまち』を体験できる壁面書架」といった提案がありました。

図書館の現状を踏まえた提案で、山形らしさも盛り込まれていましたが、大規模改修後の県立図書館の特色をやや打ち出せていない等の評価がありました。

最後になりますが、本簡易プロポーザルの参加者に対し、提案書の作成等に多大な労力を費やしていただいたこと、短期間にもかかわらず提案課題を正確に把握して、意欲的な提案をしていただいたことに感謝申し上げます。

平成 28 年 8 月 31 日

山形県立図書館等施設改修工事設計業務

簡易プロポーザル方式設計者選定委員会 委員長

山形県立図書館の活性化について

1 基本計画の概要について

基本コンセプト

県民が集い・学ぶ **本のまち**

新たな本との出会い
「ときめく」
図書館

気軽に相談
「たよれる」
図書館

ICTで幅広い情報と
「つながる」
図書館

人の輪が
「ひろがる」
図書館

具体的方策

(1) 大規模改修の実施

- 図書館エリアの拡大（1・2階計 3,390 m² → 約 5,700 m²）
- 開架エリアの拡大（現在の開架冊数 178,000 冊 → 400,000 冊の開架可能へ）
- 閲覧席数の拡大（110 席 → 200 席以上）

<1階>

子どもや若者の利用を想定したエリアを多く配置し、BGMの導入など、気軽に訪れることができる空間とする。

- 子ども用エリア（授乳室） ○ ティーンズエリア ○ 新聞・雑誌エリア
- デッキエリア ○ カフェエリア ○ アクティブラーニングエリア
- 総合カウンター及びコンシェルジュカウンター

<2階>

静かに読書や学習ができるエリアとし、1階に比べ静寂な空間とする。

- サイレントルーム ○ パソコン席 ○ 吹き抜け周辺カウンター

<その他>

- 利便性のよい駐車場の整備

(2) ICT活用の充実

- 郷土資料等のデジタル化と公開
- 市町村図書館・図書室とのネットワーク構築と連携強化
- Wi-Fi環境の導入
- ポータブル型の貸出処理端末機器の導入検討
- デジタル書籍閲覧システム（web図書館）の導入検討

(3) 管理運営の充実

- 図書資料の充実
- 調査相談能力の向上と情報発信
司書の働く場の創出と安定的配置の検討・研修の充実・調査相談サービスのPR等
- 市町村図書館・図書室と学校図書館への支援の充実
- 幅広い県民に利用しやすい開館日・開館時間の設定
- 多様な主体と連携した賑わいを創出する仕組みづくり
・ 近隣商店街、大学コンソーシアムやまがた、読み聞かせ・子育て団体等との連携
・ 地元製品の展示・即売、講演会の開催、産直市の開催等
・ 書籍、雑貨等の常設の物販検討

2 大規模改修の概要について

- 改修に向けた全体スケジュール（予定）
 - ・ 平成28年～29年度：基本設計及び実施設計
 - ・ 平成29年～31年度：改修工事（開館しながらの工事を想定）
 - ・ 平成31年度：リニューアルオープン
- 公募型簡易プロポーザルによる設計業者の選定：最優秀者 株式会社羽田設計事務所（山形市）